



国際貿易論 2020 第10回 (7/23)

学生さんへ

・今日を入れて「7/23, 30, 8/6の3回」と「補講」



国際貿易論は、普通のミクロ経済学と比べて、どうかな？？？

私個人は、「普通のミクロ経済学」のお話は、決して「好き」では無い。。。

何か平凡すぎ。わざとらし杉（何が「パンとリンゴ」だ🍌🍏）

国際貿易論になって、初めてどこか、面白くなる。。

留学生のアルバイトが増えたら？ **リップチンスキーさんだ！**

何で日本が自動車をアメリカに輸出するの？

ヘクシャーオリーンさんだ！

中国と日本で留学生のアルバイトの時給は 同じになっていくのは「平等化」という **ラーナーさんの大発見のお話だ！**
社会のおかげ？

オマージュ

オマージュ 300円
 チョコレート 10円
 チョコレート以外のお菓子 1個 30円

2. おまけ

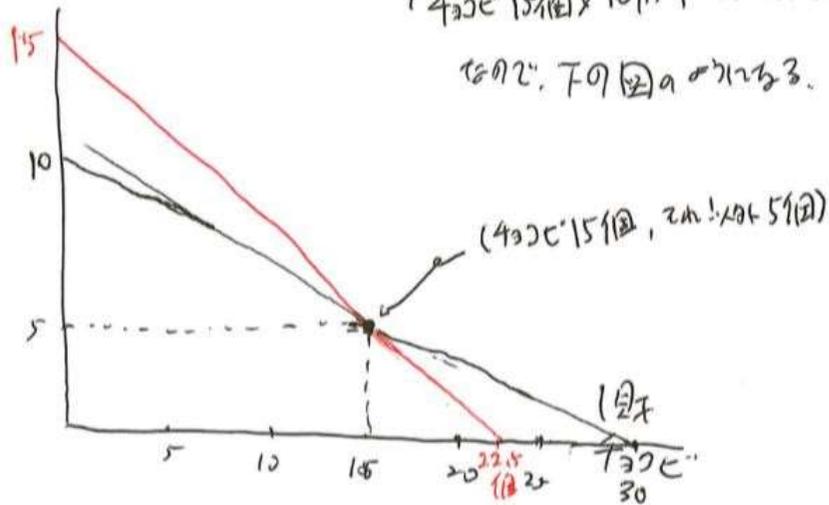
チョコレート 1個 10円
 チョコレート以外のお菓子 1個 30円
 「おまけはチョコレート 15個とチョコレート以外のお菓子 5個もつて」

というシチュエーションを考えた。

すると、おまけの「買う範囲」は

$$\text{「チョコレート 15個} \times 10\text{円} + \text{チョコレート以外のお菓子 5個} \times 30\text{円} = 300\text{円}」\text{で買える範囲}$$

だね。下の図がわかる。



→ したがって、「420°C から 1 個 20円、それ以外の菓子 30199 個」になる。

420°C: 15個 × 20円 + それ以外の 30円 × 5個 = 450円 2 個の範囲、57°C
上のようになります。

→ 420°C の
値段が変化したとき、「買値 = 20円 2 個の範囲」は、

420°C の 15個とそれ以外の菓子 5個、という点を必ず通る

↑
= 20円 2 個

「(全部を、2 個だけ)」

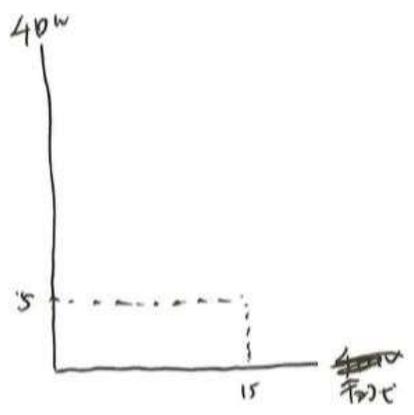
買値 = 20円 2 個

の 2 個、必ず「買値 = 20円 2 個

と、必ず
420°C の 15個
とそれ以外の菓子
5個の範囲
を通る

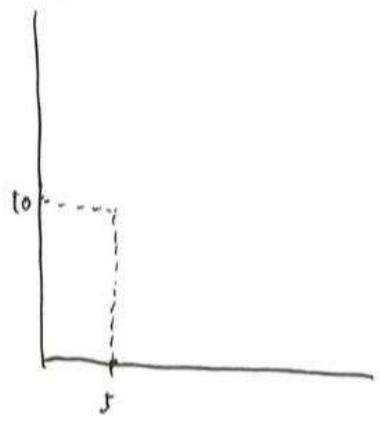
範囲」に

入る。



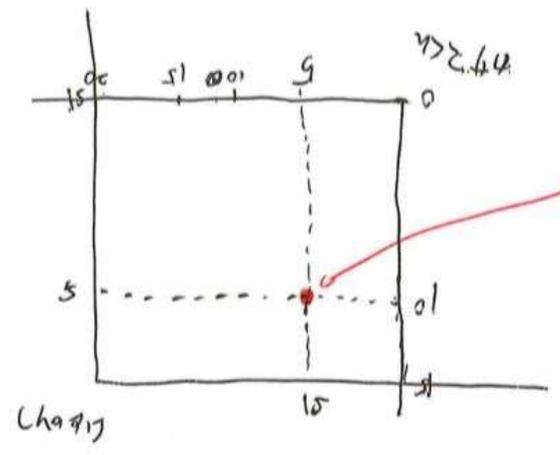
Cha 717

2人の
2000



同間器

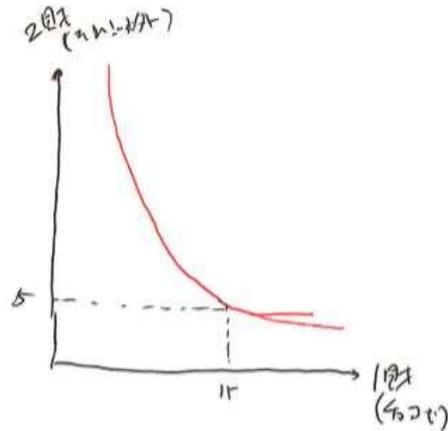
1回ずつ2000



Cha 717

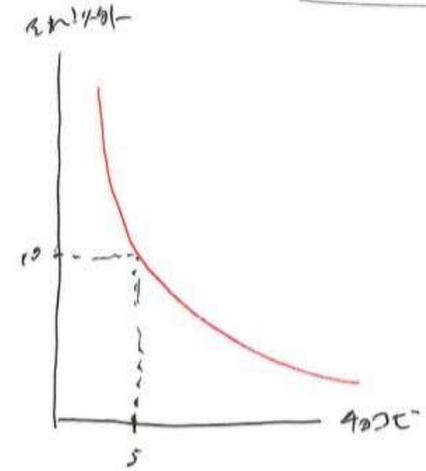
2人の最初の状態 (Cha 717 7000 5000 4000 5000 同間器 7000 5000 4000 5000)

インフレ率

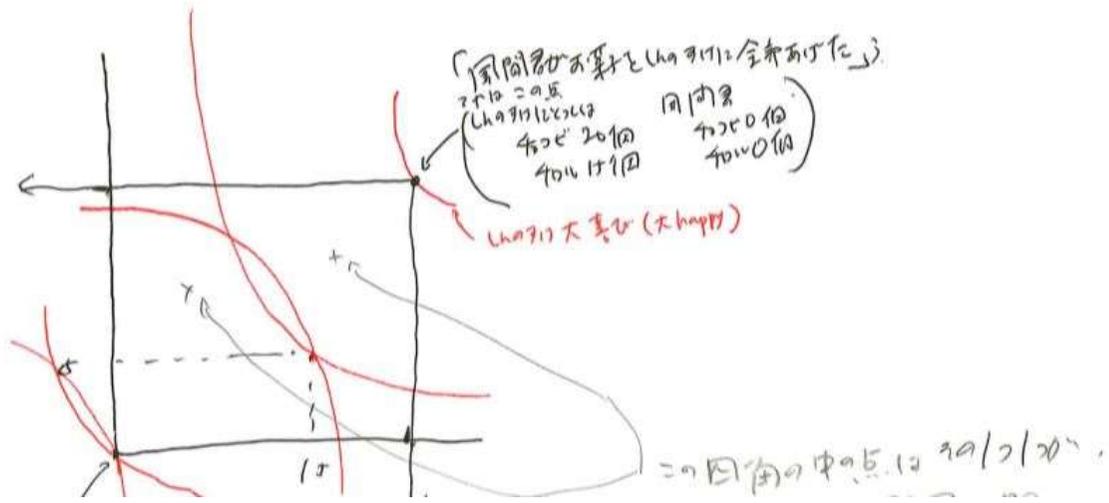


金利

↓ 金利



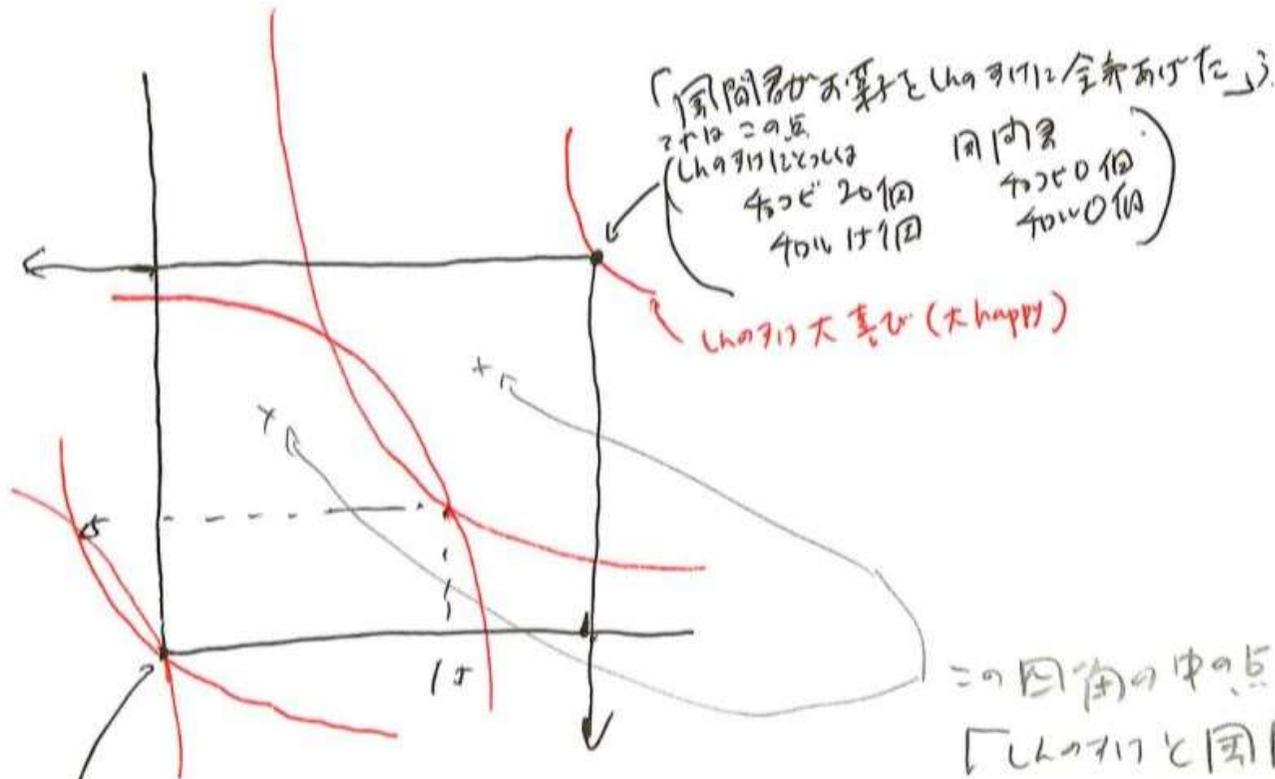
↑ 物価と金利
↑ 金利



「金利が上昇すると物価は全体的に低下」
 ↑ 金利 = 20%
 (金利が上昇すると) 物価は 20% 低下
 物価は 15% 低下
 同時に 物価は 20% 低下
 物価は 10% 低下

金利が上昇 (金利)

⇒ 図中の中心点は 20/10



「同僚君が本業をLhaが12に全額あけた」
 2+10=12点
 (Lhaが12は20個 同僚君 4000個)
 4000個 4000個
 Lhaが12大喜び (大happy)

Lhaが12の本業を
 同僚君が全額もした。林能
 (Lhaが12 同僚君)
 4000個 4000個
 4000個 4000個

この図の中点の点は39/2/20、
 「Lhaが12と同僚君の間で
 2人が持つたお菓子
 をどう分けるか(分配する)
 39分ける方法を要す」
 20/20